

第89期 中間 株主通信

平成29年4月1日から平成29年9月30日まで

 高田機工株式會社

証券コード: 5923

株主の皆様へ

平素は格別のご高配を賜り、厚くお礼申し上げます。

ここに当社第89期上半期（平成29年4月1日から平成29年9月30日）の概況と決算についてご報告申し上げます。

株主の皆様におかれましては、今後とも一層のご支援、ご鞭撻を賜りますようお願い申し上げます。

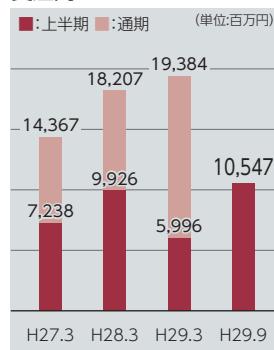
平成29年12月



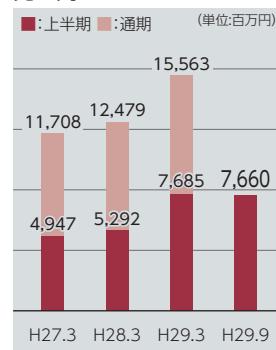
取締役社長 寶角 正明

財務ハイライト

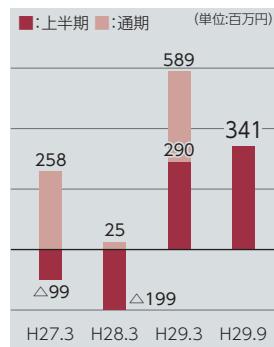
受注高



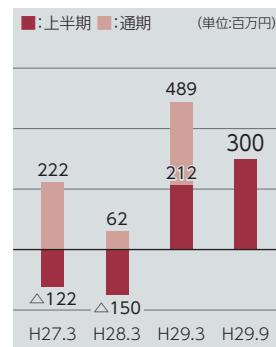
売上高



経常利益又は経常損失(△)



純利益又は純損失(△)



当上半期の事業概況

当上半期におけるわが国経済は、不安定な海外情勢の影響を受けながらも、輸出の回復や底堅い国内需要から企業収益が好調に推移し、雇用所得環境の改善を背景に個人消費も堅調な推移が見られるなど着実に回復基調を辿りました。

橋梁事業におきましては、発注の早期化が実施され、当上半期の発注量は前年同期を上回る結果となりました。鉄構事業では鉄骨需要は極めて堅調であり、通期では前年度を上回る発注量が見込まれます。「首都圏一極集中」が継続しており、東京五輪に向けて繁忙状態が続くと思われま。

このような状況のもとで、橋梁事業では更に応札案件を絞り込み、技術提案の内容強化と入札価格の精度向上を継続することで受注量の確保に努めました。結果、国土交通省（関東地方整備局・中部地方整備局）から大型案件を受注することができ、受注高は前年同期を大きく上回りました。一方、鉄構事業では、首都圏での受注確保を目指しましたが、目標案件の受注確定には至らず、前年同期を下回る結果となりました。

損益面につきましては、進捗の滞った工事が発生したことで、完成工事高は前年同期をわずかに下回りました。しかしながら、工場製作・現場架設ともに概ね順調に推移し、営業利益、経常利益、純利益はすべて前年同期を上回る結果を残すことができました。

中間配当金につきましては、1株につき3円とすることを平成29年11月10日開催の取締役会において決議しております。

受注高	105億47百万円 前年同期比 75.9%増	↗
	橋梁事業 99億51百万円 前年同期比113.9%増	
	鉄構事業 5億95百万円 前年同期比55.7%減	
売上高	76億60百万円 前年同期比 0.3%減	↘
	橋梁事業 60億80百万円 前年同期比0.5%減	
	鉄構事業 15億80百万円 前年同期比0.3%増	
経常利益	3億41百万円 前年同期比17.5%増	↗
純利益	3億00百万円 前年同期比41.5%増	↗

橋梁事業

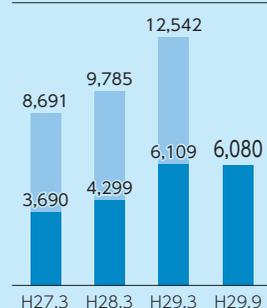
主な売上工事

東北地方整備局の小佐野南地区橋梁、中日本高速道路㈱の向畑高架橋、東日本高速道路㈱の高谷ジャンクション橋南、和歌山県の岡崎大橋

主な受注工事

関東地方整備局の行徳橋、中部地方整備局の飛島大橋左岸・福田第3高架橋内回り・関高架橋、川崎市の羽田空港連絡橋、福岡北九州高速道路公社の第601工区その3

売上高(単位:百万円)



受注高・受注残高(単位:百万円)



鉄構事業

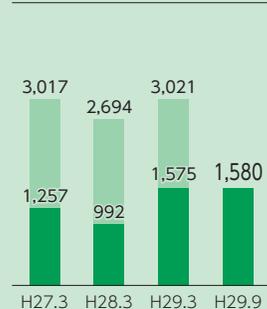
主な売上工事

㈱大林組の新南海会館ビル、大成建設㈱の豊洲二丁目駅前地区市街地再開発・渋谷駅街区東棟新築工事、日本国土開発㈱の入間格納庫新設建築工事

主な受注工事

㈱大林組の神戸阪急ビル、大成建設㈱の森永乳業㈱利根工場新築建設工事

売上高(単位:百万円)



受注高・受注残高(単位:百万円)



会社概要

(平成29年9月30日現在)

社名	高田機工株式会社
創業	大正10年(1921年)6月1日
設立	昭和7年(1932年)3月1日
資本金	51億7,871万円
代表者	取締役社長 賀角 正明
事業内容	▶道路橋、鉄道橋など鋼橋の設計・製作・架設 ▶ビル建築、学校体育館など鉄骨の設計・製作・架設 ▶鋼橋上部工の床版、舗装工事、標識、防護柵などの設置工事
本社	〒556-0011 大阪市浪速区難波中2丁目10番70号(パークスタワー6階) 電話(06)6649-5100(代)
東京本社	〒103-0011 東京都中央区日本橋大伝馬町3番2号(Daiwa小伝馬町ビル) 電話(03)3662-3581(代)
和歌山工場	〒649-0111 和歌山県海南市下津町方1375番地の1 電話(073)492-4700(代)
技術研究所	〒649-0111 和歌山県海南市下津町方1375番地の1 電話(073)492-4971
営業所	仙台・静岡・名古屋・和歌山・広島・福岡・沖縄

株式の状況

(平成29年9月30日現在)

発行可能株式総数	65,600,000株
発行済株式の総数	22,375,865株
株主数	2,588名
大株主(上位10名)	

株主名	持株数(千株)	持株比率(%)
日本生命保険相互会社	1,336	6.06
神吉利郎	1,002	4.54
新日鐵住金株式会社	1,000	4.53
JFEスチール株式会社	915	4.15
株式会社奥村組	888	4.02
伊藤忠丸紅鉄鋼株式会社	810	3.67
濱中ナット販売株式会社	659	2.99
前尾和男	628	2.84
日本マスタートラスト信託銀行株式会社(信託口)	590	2.67
株式会社紀陽銀行	586	2.65

(注)持株比率は、発行済株式の総数より自己株式(340千株)を控除して算出しています。

株主メモ

事業年度	毎年4月1日から翌年3月31日まで
定時株主総会	毎年6月開催
基準日	定時株主総会 毎年3月31日 期末配当金 毎年3月31日 中間配当金 毎年9月30日 そのほか必要があるときは、あらかじめ公告して定めた日
単元株式数	100株
株主名簿管理人および特別口座の口座管理機関	東京都千代田区丸の内一丁目4番1号 三井住友信託銀行株式会社
株主名簿管理人事務取扱場所	大阪市中央区北浜四丁目5番33号 三井住友信託銀行株式会社 証券代行部
郵便物送付先	〒168-0063 東京都杉並区泉二丁目8番4号 三井住友信託銀行株式会社 証券代行部
電話照会先	☎ 0120-782-031
インターネットホームページURL	http://www.smtb.jp/personal/agency/index.html
公告方法	電子公告 (http://www.takadakiko.com/) ただし、電子公告による公告ができない場合は、日本経済新聞に掲載
上場金融商品取引所	東京証券取引所 市場第一部

単元株式数の変更及び株式併合について

当社は、平成29年10月1日を効力発生日として普通株式10株を1株とする株式併合及び単元株式数を1,000株から100株とする変更を行いました。株主の皆様には新株式数を記載した「株式併合手続き完了のお知らせ」を平成29年11月1日に発送させていただいております。
なお、株式併合の結果1株未満の端数株式が生じた株主様には、これを一括処分し、その処分代金を、今回の中間配当金とあわせてお支払いいたします。

単元未満株式の買取・買増について

単元未満(100株未満)の株式につきましては、買取または買増を請求いただくことができます。その手続きを希望される場合は、株主様の口座がある証券会社等にお申し出ください。

※特別口座に株式が記録されている場合は、三井住友信託銀行株式会社にお申し出ください。

表紙写真

上：三尾河橋(岐阜県 橋長329m 鋼重220t)
左中：小佐野南地区橋梁(岩手県 橋長261m 鋼重1,246t)
左下：岩出橋(和歌山県 橋長378m 当社施工鋼重1,496t)
右下：新南海会館ビル(大林組・竹中工務店・南海辰村JV 当社施工鋼重2,071t)

高田機工株式会社

大阪市浪速区難波中2丁目10番70号(パークスタワー6階)

UD
FONT